

支援だより

第5号



県立金沢支援学校 連携支援グループ 地域支援チーム 令和7年3月



今年度の教育相談



今年度も、校内外からの相談が多数ありました。校内の相談については、担任や学部の教員、教育相談コーディネーター、進路、専門職、養護教諭等、校内のいろいろな教員と一緒に考えたり、関係機関の方々と連携をとったりすることで、子ども達の支援を考えてきました。

また、保護者の方からのご相談が多かったのが、通学時の移動支援についてです。高等部ではスクールバスの利用が難しくなることから、学校の方からも中学部段階から移動支援を探していくことの必要性をお伝えはしていますが、事業所の車両やヘルパー不足が深刻でなかなか見つからないのが現状です。ただ、移動支援を探しているというニーズを伝えることは大切です！あきらめずに根気強く、計画相談や横浜市各区にある移動情報センターに相談しつつ、横浜市や横須賀市のHPに移動支援事業所一覧をもとに問い合わせしていく等、保護者の方自身も動いていくことが大切です。

校外からの相談については、地域の学校の先生方や保護者からのご連絡が多くありました。特別支援学校のセンター的機能として、子どもの支援と一緒に考えるために教育相談コーディネーターや専門職が地域の学校に巡回相談に行ったり、研修会の講師の依頼を受けたりすることもありました。

来年度も、地域の特別支援教育センターとして、地域の子どもの支援にかかわっていただけたらと思っています。

金沢区の特別支援学級の担任の先生方と本校の教員で、授業づくりや教材・教具、子どもへの対応のコツ等をテーマに話をしました。お互いに学ぶことが多く、良い研修会となりました☆

*研修会

《小・中学校》

「“特別支援”について座談会」

「将来に向けて小中学校のうちからできること」

「教育のユニバーサルデザインと支援が必要な子どもの理解」

「小学校・中学校で身につけるべき力」

「センター的機能と通常学級での支援」

《高校》

「センター的機能を使ってみませんか？」

《その他》

並木第一小学校や金沢総合高校との学校間交流に向けた出前授業



***巡回相談**



巡回相談の依頼が入る学校の多くは、磯子区・金沢区・横須賀市北部等本校の子ども達が住んでいる地域の学校です。

地域の学校にセンター的機能を発揮していくことが、地域の方々の障害理解の深まりや地域力等につながり、本校の子ども達がより安心して地域生活を送れると良いなあと考えています。

